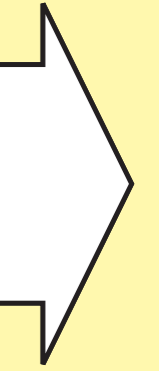


テーマとなる地域資源の定義づけと
魅力の物差し・保存・整理の仕組みづくり

○地域資源情報受発信サポート事業

- (1) 地域情報受発信手引の作成：区長会、老人クラブ連合会、社会福祉協議会等を通じ手引きを配布。ウェブサイト、SNSでの拡散等を行い事業の浸透を図る
- (2) 情報編集能力の向上：興味を誘う講座を行い、受講者が継続的に事業に参加し、魅力ある情報発信を実施する地域メディアとしての活躍を視野に入れたサポートを行う。



ターゲット層の実態を
把握効果的な参加の
呼びかけ!

○地域実態調査及び参加普及事業

- (3) 地域実態調査：参加普及事業がスムーズに機能するよう、設問等を修正、対象を変えていく等継続して調査を実施する。
- (4) 参加普及事業：今年度も説明会を積極的に開催する。また、既存団体への調査も継続して実施し、対象世代の活動を把握するとともに受け入れ促進を試みる。



情報インフラ
に慣れ親しむ

○情報リテラシー向上事業

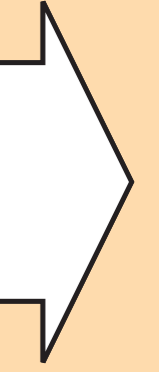
- (10) 地域サポーター育成事業：引き続き、各地区のスマホリーダー養成の講座を行うとともに実践の機会を設けリーダーとしての活動を促進する。
- (11) デジタル機器学習講座事業：市内の団体や通信事業者等と連携し対象世代のリテラシー向上のため講座の実施や啓発等を実施する。



地域で活躍するための
ステージIIプラットフォームづくり

○情報受発信プラットフォーム形成運営事業

- (5) 情報受発信プラットフォーム形成事業：R2年度に作成したマニュアルに基づき教育教育プログラムの実施、点検を行い事業の円滑な実施に務める。
- (6) 情報受発信プラットフォーム運営事業：情報受発信の実施、アーカイブ事業の実施、連絡調整会議の開催、市民サポーター、運営補助団体の育成、アドバイザーによる事業点検の実施



実際に活躍する
ためのトファイル

○地域資源活用実践事業

- (7) 情報伝達メディア作成発信事業：収集された情報を参加者により発信する実践を行うものであり、効果的な地域メディアとして機能していくことを目指す。
- (8) 出前講座及び交流事業の実施：参加者が講師となって開催するセミナーや小中学校への出前講座を実施する。また、地域資源情報に親しんでもらう機会として展示・体験交流会を開催し、多世代との交流を促進する。
- (9) 商品開発：地域の食材や各家庭に伝わる郷土のレシピ等から、商品開発を試みる。また、実際にフィールドに出て、人文資源に触れ合う等地域を体験するツアーの試行

